

# Dear 地球民

第 33 号  
2010年5月発行

編集発行  
〒259-0392

ゆがわら国際交流協会  
神奈川県足柄下郡湯河原町中央2-2-1  
湯河原町役場地域政策課内 TEL0465-63-2111(内線)232



第24回やっさ国際交流



**8月5日 醍醐院(生け花・座禅・華道)**



# 留学生とホストファミリーの皆さん



陳 詩永 (チン シエイ) (台湾)  
奥津ファミリー



黄 昆斌 (チン カイショウ) (台湾)  
小島ファミリー



張 学宜 (チョウ ガクイ) (台湾)  
福田ファミリー



林 小茵 (リン ショウイン) (香港)  
岩本ファミリー



陳 森泰 (チン シンタイ) (台湾)  
山田ファミリー



呉 白象 (オ ベクサン) (韓国)  
伊藤ファミリー



李 ミリ (イ ミリ) (韓国)  
山本ファミリー



ゲキェル ジェリックス コンタン (フランス)  
古川ファミリー



ゴンザレス ビエール (フランス)  
橋本ファミリー



ヒリシャ バレシ メヘタ (インド)  
田口ファミリー



アントニエッタ アレハンドラ (アルゼンチン)  
青木ファミリー



ウォン シャオトン (シンガポール)  
川上ファミリー



劉 陳 (リュウ チン) (中国)  
小澤ファミリー



金 守眞 (キム スジン) (韓国)  
露木(高) ファミリー



カサンドラ ドラ ジュリアン (アメリカ)  
佐藤ファミリー



楊 程嬋 (ヤン テイサン) (中国)  
佐々木ファミリー



クアドロス ロドリゲス ルシア フェルナンダ (ペルー)  
柳沢ファミリー



セニーウォン ナ アユタヤ チョンコンニー (タイ)  
鎌田ファミリー



エディカ ヌルル アーミ (インドネシア)  
露木 (一) ファミリー



ソアレス バロマ ヨシエ シロズ (ブラジル)  
折戸ファミリー



メーダ アナングン スシャット (タイ)  
早藤ファミリー

## ホストからのフォトアルバム (家族団欒)



やさき国際交流期間中のホストファミリーからの団らん写真を集めて見ました。なかなかみられない家庭内での風景は新鮮でした。今後もこのような場をジャンジャン増やしていきたいものです。



## ふれあい産業祭参加 地球市民フェスタ

10月25日(日)海浜公園にて商工会主催の第28回ふれあい産業祭の「国内外親善交流フェア」に参加。ブラジルコーヒー・アメリカンポップコーン・韓国ちぢみ・中国水餃子など販売し協会のPRとハートフル募金も行った。当日は台風のような風雨にも負けず、たくさんの人で賑わった。



当協会が協賛している、第14回地球市民フェスタ in 小田原が平成22年2月21日川東タウンセンターマロニエで開催され、当協会の資料展示および事業紹介・ハートフル募金を行った。スタンプラリーがあったためか、参加者が昨年より多く訪れた。



## 大苦戦「岩戸山」・「十国峠」

### ハイキング

平成21年4月5日、会員親睦第2回ディスカバー湯河原ハイキングを実施した。午前8時30分、快晴の下、大人10名、小人



(3~8才)6名、総勢16名が「商工会館」前を出発した。意外に小さな子の参加に大丈夫かな(?)と心配した。「潮音寺」横から「七尾峠」へ向う途中、早くも道に迷い、道路は行き止まり。その先の段々畑に侵入。放置された畑は大人の背丈もある雑草に覆われ、草を掻き分け掻き分け畑を横切り、石垣をよじ登り、ただ前進あるのみ。大人はクタクタになったが、ちびっ子たちは「楽しいな!楽しいな!」と大はしゃぎ。やっと道路に出た途端、自称カメラマンの大の大人が足を吊らせてダウン。まだ10時前である。こうなると写真どころではない。足を引きずりながら懸命について行くのが精一杯。

「岩戸山」を過ぎて間もなく、今度は早藤会長が足を吊らせてしまった。「日金山」に着いた時には負傷者以外誰の姿もなかった。フラフラになりながら「十国峠」に辿り着くと、子供たちは力を持って余して駆けずり回っていた。全員で記念写真を撮り下山を開始。

「湯河原分岐」から「中央林道」を通過中、またまた道に迷い、相当の距離をロスした。負傷者にとっては過酷な試練だ。やっとの思いで「日金山登山口」を抜け、終着点の「落合橋」に向う途中、協会役員の木村さんが乗用車で参加者を1人1人拾ってピストン輸送してくれた。全員無事に「観光会館」前に到着した時、時計の針は丁度午後4時を指していた。それにしてもちびっ子たちのエネルギーには、ただただ恐れ入ったと感嘆させられたすばらしい機会となった。

(KI)



## 霧の「白雲の滝」・快晴の「池峰」

### ハイキング



平成21年11月23日、霧雨の中、第3回ディスカバー湯河原ハイキングを決行した。参加者13名(大人11名、小人2名)は午前9時45分、バスで「湯河原駅」を出発した。10時20分、「天照山」で下車。まだ細かい雨は降っていた。歩き始めると雨はやんだが、霧は立ち込めていた。霧の切れ目から覗く紅葉がすばらしい。10時40分、「白雲の滝」に到着。霧も少しづつ晴れて来て、滝をバックに全員での記念写真は味のある出来映えを予感。ただしカメラマンの腕次第。11時10分、「天照山神社」に到着。ここで5分間の小休止。雨は完全に上がった。5分で「去来の滝」へ。滝というより沢に近い。外国人を交えた十数人の若いハイカーと遭遇。「登りはきつ

いよ。」と脅かしてやった。

12時20分頃、「天照山入口」に到着した時、空は晴れ渡っていた。周囲の紅葉がすばらしい。「加満田旅館庭園」で昼食。おかずや果物のやり取りで幸せな一時を堪能した。「去来の滝」を過ぎた頃から参加者の1人の足が吊り始め、昼食後、彼の奥さんとバスで帰った。2名の参加者が欠けたのは残念だったが、気を引き締めて「紅葉の郷」に向けて登った。このコースは第1回目のハイキングと同じコースである。午後2時10分、「紅葉の郷」に到着。紅葉が陽光に輝いて、とても美しい。多くのハイカーたちがあちこちで楽しんでいて。午後2時40分、「池峰」に到着。前回よりさらに整備され、自然のままを愛する筆者にとって落胆を禁じ得ない。会長と2人の子供たちは最終目的地の「独歩の湯」へ、他は「こごめの湯」へ向った。

「こごめの湯」で昼食後別れた夫妻と再会し、その奇遇に驚いた。この日は全天候を体験した貴重な1日となった。

(KI)



## 盛大なクリスマスパーティー

恒例のクリスマスパーティーが平成21年12月22日午後6時30分より文化福祉会館で行われた。参加者は72名(大人44名、小中学生21名、幼児7名)を数え、ビンゴ大会やチャリティーオークションの他に新たにエレクトーンによるクリスマスソング生演奏、キャンドルツリー、〇×クイズ大会などが加わり、賑やかで楽しいクリスマスオンパレードだった。特に、暗闇ツリーの中で行われたちびっ子たちによるキャンドルの点灯式は厳かで神秘的な光景であった。さらに、久保田先生が演奏するエレクトーンの周りに集まったちびっ子たちのクリスマスソングの合唱は



楽しい雰囲気が会場全体を包み込み、夜の更けるのも忘れさせるほどだった。なお、オークションの売上は37,570円であった。その中から1万円をあしなが育英会に寄贈し、残りはポर्टスティーブンス交流事業の積立金とさせてもらった。

初級英会話

**Paul Thompson**先生「すぐに役立つトラベル英語」  
旅についての話しや楽しみ方、買い物の仕方など  
Paul先生より～担当して5年目、皆、助けあって学習  
する意義、素晴らしいクラスでした。  
☆受講生の皆様より～最初は緊張しましたが、あっ  
という間に2ヶ月が過ぎました。  
☆苦手と考えていた「英語」がこんなに楽しいもの  
なんだと感じました。



中級英会話

**Gary Burkhalter**先生「英語ではなさない」と  
毎日の事、楽しい事、すべて英語で話しましょう  
Gary先生は担当して2年目、多趣味で気さくな方で  
☆受講生の皆様より～先生がとても明るく楽しい方で  
リラックスできた。  
☆辛抱強い講義が信頼感に繋がっていると思いました  
☆忘れていた単語、新しい表現、講座で覚えました



講座終了後（10月26日）に行われた“わくわくパーティー”

受講生からの出題に先生が答えるゲームや、お世話になった先生に感謝の言葉を「英語」でひとことメッセージ

久々に学生気分



先生の前だとあがってしまいます



国際理解講座「やさしいヨガ」

平成21年11月19日19時～21時  
於：ヘルシープラザ

健康のためにも一度はやってみたい、「ヨ  
ガ」、今回はCOSMIC YOGAの天野晶先生  
のご指導で体験講座を開催しました。  
ヨガの動作は自分がつらいと思うところま  
でが最良のポーズ。鼻からの呼吸で体内をマ  
ッサージする、イメージ。体内の細胞に血液を  
送り込み若返るということです。参加された  
方々からも「無理なく体をうごかせてすがすが  
しい気分になった」「楽しかったこれからも続け  
たい」等感想頂きました。  
寒さが増す夜にポカポカと暖かい2時間でした。





台湾は沖縄の南に位置するサツマイモの形をした島国です。かつて、日本の統治が50年続いた歴史があり、台湾には今でも沢山の古き良き日本が残っています。日本の文化、風習、料理、建物や台湾語の中の日本語、武士道の精神までも…。そして、台湾の人は日本人が忘れかけている暖かい心を持ち続けています。世界で一番親日的な台湾へ行くと、とても居心地が良く色々な国に行ってみたくて思いつつも独身時代から、ずっと…気がつくと台湾へ…。

そして5年前、結婚後初めての台湾へ家族で再デビュー。7年ぶりの台北の街はとてもオシャレになっていたけれど、人々の心は変わらず暖かく多くの友人とも再会でき、「やっぱり台湾が好き」と再確認。とうとう2年前の夏、仕事をやめ2人の子供を連れて3週間の親子プチ留学を決行しました。私は語学力upのため語学学校へ。子供達は現地のサマースクールに通いました。中国語が話せるようになるにこしたことはありませんが、子供たちには色々な体験をしてもらいたいと考えています。この経験が将来、選択肢の一つになったり、壁にぶつかった時の支えになれば良いと願っています。スクールでは2人共クラスに溶け込み、沢山の友達も出来楽しそうでした。「行けば何とかなる」のではなく、自分たちでちゃんと、「何とかしている」のです。そんな子供たちを頼もしく感じ、成長を嬉しく思いました。



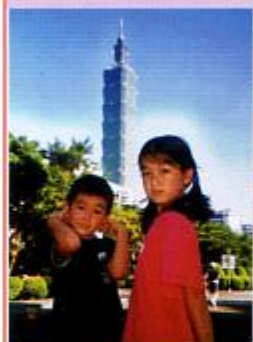
この勢いで、去年の夏も台湾へ。子供たちは同じスクールに通いましたが私は語学学校には行かず、とにかく中国語を話そうと街へ出かけました。日本統治時代の台湾に興味があったので、その時代にゆかりのある人々や場所を尋ねたり、地元の

図書館で当時の資料を探す毎日でした。子供たちの学校が終わると、市内の名所を散策したり、夜市でB級グルメの食べ歩きをしました。週末はローカル電車や路線バスを乗り継ぎ、郊外へでかけたり、台湾の友人が旅行やバーベキューに誘ってくれました。湯河原町の夏のメイン・イベント「やっさ祭り」の季節、ゆがわら国際交流協会ではホストファミリーを募り、留学生を受け入れています。2年前、我が家にホームステイした林乗輝君と台湾で再会し、彼の家族に会うこともできました。

# 台湾フエチ

台湾の人は「縁」という言葉をよく口にします。縁あって出会う人々、出来事、風景…。時代や人が縁でつながっている事を台湾にいると実感します。縁あって出会えた方たちのおかげで、私たちは貴重な経験ができ、素敵な思い出がたくさんできました。心から「謝謝」。そして私たちが台湾に行っている間、留守番してくれた主人と3匹の犬っ子(2匹は14年前、台湾から連れてきた当時野良ちゃんだった犬)に感謝しています。次の目標はママチャリで、台湾1周です！

奥津みどり



## 卒寿に思う “国際交流”

現在、情報はあらゆる手段で伝えられている。テレビ・コンピューター・ラジオ・ケータイなど個人は全ての情報を選べる状態だ。コンピューターではEメールで簡単に情報が得られる。特にケータイは恐ろしいほど普及している。テレビの画面でも同じだ。OE（オープンエデュケーション）とか、アマゾンの電子書籍端末「キンドル」では「これまで出版された全ての本を60秒以内に読めるようにすること」をビジョンとしているらしい。日本語版はソニーが目下研究しているらしい。残念なことに、ケータイを除いて、そこには会話がないのだ。

ゆがわら国際交流協会では毎年夏になると愛情あふれる家族が、日本を訪れた外国の青年たちのお世話をし、やっさ踊りでは日本の浴衣を着せて街全体を練り歩き、親しみをより一層深める毎年の行事がある。そこには言葉は通じないが、食事をしながら何とかして会話を楽しむ。いざ別れの日になると涙を流しながら抱き合って別れを惜しむという。こ

の美しい行事は今年の夏にも行われるが、心待ちにしている家族もおられるという。

これは全国でも珍しいニュースになっているらしい。

私は今年90歳を迎えた。私事で申し訳ないが、もし神様のお告げで100歳まで生かしてくれたら、後の人生は感謝の気持ちで過ごすことができるだろう。人生とはまことに勝手なもので、89歳の人生観とは全く違ったものを感じるのだ。

ゆがわら国際交流協会も同じだと思う。毎年夏を迎えると善意に満ちた新たな人が現れてお世話を続ける。この優しさはいつまでも続けられ、湯河原の財産にまで発展することになるだろう。

このことは是非とも続けて欲しいものだ。スタッフの方々のご苦労は大変なものだと聞いている。私は一度もお世話することはなかったが、ゆがわら国際交流協会のスタッフの方々の一層のご苦労を承知の上でお願いしたいものだ。（石井立夫）

## 新事業“ハートフル募金”



平成21年10月「ハートフル募金」事業を新設した。「眠れる世界のコイン」（海外に行った方で引き出しの中などに眠ったままになっている釣銭などの外国コインや紙幣）を寄付していただき、海外支援団体の活動の手助けとなるよう支援金を寄贈しようという企画である。2010年3月31日現在、30ヶ国以上の紙幣やコインが集まっており、今後の各事業の開催毎に「ハートフル募金コーナー」を設け、参加者の善意をお願いする予定である。



### ホストファミリー募集のお知らせ

今年もやっさまつりに合わせて「やっさ国際交流プログラム」が行われます。

人と人との心の交流を広げて国際親善を深めるため、ホストファミリーを募集します。

期間：平成22年7月31日（土）

～8月7日（土）の8日間

親戚の子供来宅のように家族として楽しんで下さい。

※言葉がわからなくても普段の生活の中で暖かく迎えていただければ結構です。

皆様のお申し込みをお待ちしております。

問合せ：会長 早藤(0465-62-3278)まで。

### 会員募集のお知らせ

ゆがわら国際交流協会では新規会員を募集しております。私たちと一緒に国際交流してみませんか？詳細はお問い合わせ下さい。